

同時通訳夏季研修会のご案内

1. 参会受付

- 川崎市国際交流センター1階「ホワイエ」にて、7月26日（金）午前9：10より、27日（土）午前8：10より受付を開始します。参会者カードに必要事項をご記入のうえ、第34回日本脳神経外科国際学会フォーラムへの参会費とともに、合計17,000円（JNEF年会費2,000円を含みます）をお支払いください。
- 受付は現金のみです。クレジットカードやデビットカードはお使いいただけません。おつりの出ないようご準備くださいますようお願いいたします。

2. Trainee ならびに trainer の方々へ

次項「進行について」をご熟読ください。

3. Ken's Award と会長賞

日→英同時通訳の評価点で最高点の trainee には Ken's Award が、また英→日同時通訳の最高点の trainee には会長賞が贈られます。

4. 同時通訳研修会演者の皆様へ

- スクリーン1面、8分程度の発表をご準備ください。時間には余裕を持たせてありますので、ゆっくりご発表くださるようお願いいたします。
- スクリーンサイズは16：9です。
- データはUSBフラッシュメモリまたはCD-Rに保存してお持ちください。用意しているPCは、Windows 10のPowerPoint 2010、2013、2016です。
- できるだけOS標準フォント（MSゴシック、Arialなど）をご使用ください。PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。
- Macで発表される場合や、発表内で動画をご使用の場合には、ご自身のPCをお持ちください。通常の学会同様、モニターはアナログVGA（ミニD-sub 15ピン；JNEFプログラムをご参照ください）にのみ対応しています。必要に応じて変換ケーブル／コネクタをご準備ください。併せて、必ず電源アダプターをご持参ください。
- プレゼンテーション内に他のデータ（静止画、動画、グラフ等）をリンクさせている場合には、リンク先の元データも同一フォルダにコピー・保存し、作成したPCとは別のPC（Windows 10）にて事前に動作確認をお済ませくださるようお願いいたします。
- 発表時はレーザーポインターではなくマウスを使用してください。
- データやメディアは、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてからお持ちください。お預かりしたデータは、学会終了後、責任を持って消去いたします。

5. その他

- 服装は例年通り、ノーネクタイのビジネスカジュアルでお越しください。

進行について

通訳ブース別のグループ分けは以下の通りです。ご自身がどのグループ（ブース）の trainee / trainer なのかをご確認ください。昨年同様、trainer はブース内外で直接指導、supervisor はフロアで採点をしながら休憩時間などにアドバイスという役割を想定しています。何とぞよろしくご協力ください。

		氏名	所属	参加回数	JNEF 演題#	trainers
A	A-1	末永 潤	横浜市立大学 脳神経外科	5	d-1	Soichi Oya* Takeshi Kondo Masaaki Taniguchi
	A-2	大島 聡人	横浜市立大学附属病院脳神経外科	2	a-2	
	A-3	立林 恭子	三井記念病院	1	c-3	
	A-4	清水 道生**	博慈会記念総合病院 病理診断センター	1		
B	B-1	天野 裕貴	聖隷三方原病院 脳神経外科	4	a-5	Muneyoshi Yasuda* Hiroshi Nishioka Kazuaki Shimoji
	B-2	遠藤 昌亨	埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科	2	b-2	
	B-3	小島 以織	千葉大学病院脳神経外科	1	b-1	
	B-4	佐藤 吉通	いわき市医療センター 脳神経外科	1	e-1	
C	C-1	木下 裕介	中村記念病院 脳神経外科	4	f-1	George Tokugawa* Masahiro Ogino Yoshie Hara
	C-2	大倉 英浩	順天堂大学浦安病院脳神経外科	2	b-3	
	C-3	藤原 大悟	兵庫県災害医療センター	1		
	C-4	二宮 敦彦	岩手県立中央病院脳神経外科	1	e-2	
D	D-1	磯崎 潤	西新井病院脳神経外科	2	e-5	Manabu Natsumeda* Yoshihiro Natori Yasushi Shibata
	D-2	山本 一徹	東京女子医科大学脳神経外科	1	c-1	
	D-3	吉田 啓佑	慶應義塾大学医学部脳神経外科	1	d-2	
	D-4	高橋 暁	東京医科歯科大学脳神経外科	1		

ブース内は広くない（というか狭い）ので trainee / trainer 全員がブース周辺にいることは不可能です。各ブースの chief trainer* の方は、適宜ローテーションを指示されるなどして、ブース内外の混雑や各 trainee / trainer への負担分散にご配慮ください。もちろん、ご自身の発表や座長、コメンテータ役が近づいたらフロアにお降りいただき、残ったメンバーで trainee / trainer 業務をご遂行ください。

** は脳神経外科以外の先生です。